

国立市長 佐藤一夫様

ムダ遣いの大型開発をやめ、 「市民のためのまちづくり」への転換をめざす要請署名

私たちが愛する国立は、85年前教育と文化のまちをめざして築かれ、65年前には住民運動で「文教地区」に指定され、誰もが住みたくなるまちとして育てられてきました。

しかし、平成21年に発表された「国立駅周辺まちづくり基本計画」は、総工費153億円で、市財政や市民には重い負担増を伴い、美しい静かな環境が乱され、安全が損なわれるものでした。

市民団体の世論調査でも、この「計画」への市民の支持は6%しかありません。

ところが現市長は、世論に押されて「駅前ロータリーは残す」としたものの、全体としてこの「計画」を引き継ごうとしています。

私たちは、国立市が教育と文化のまちとして、市民のくらしと環境を豊かにする地域社会へ発展することを願い、以下のことを要請します。

1、153億円を無駄にする「国立駅周辺まちづくり基本計画」を根本的に改め、税金・公共料金の値上げをやめてください。

公共施設耐震化・谷保駅エレベーターやコミバス拡充・高齢者や子どもの施設・学校にきれいなトイレなど身近なことに税金を使ってください。

2、大型車をひきこみ、旭通りを危険な道にする「3・4・10号線」延長をやめてください。

3、国立の「まちづくり」は広く市民の声・世論を聞いてすすめてください。

| お名前 | ご住所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

ムダ遣いの大型開発をやめ、「市民のためのまちづくり」への転換をめざす署名推進センター
代表世話人 川口智久 赤松宏一（連絡先・赤松 TEL&FAX：572-0306）